

検査結果報告書

受付日	2017/10/30	検査ID	13853
報告日	2017/11/01		
施設名	原田動物病院	様 施設ID	52159
飼い主様	原田 俊彦	様 カルテNo	
ペット名	サクラ	検体採取日	2017/10/28
種	猫	雌雄	♂ ・ ♀
品種	ラグドール	年齢	8ヶ月

検査項目	材料	検査結果	
HCM(MYBPC3遺伝子型)	血液	MYBPC3	C/C

判定・コメント

変異「MYBPC3 p.R820W」についてPCR-RFLP法により解析した結果、遺伝子型は「C/C(正常型のホモ接合体=クリア)」と判定されました。両親から受け継いだ遺伝子のどちらにも変異「MYBPC3 p.R820W」は認められませんでした。
 *当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症可能性を完全否定することはできません。



TEL : 0948-26-1660 FAX : 0948-26-1656 E-mail : kahotechno-ai@kahotechno.co.jp

検査責任者



検査結果報告書の見方

検査結果報告書

ご依頼日	2016/05/20	検査ID	1283
報告日	2016/06/01		
施設名	〇〇動物病院	種	施設ID
飼い主様	△△	種	カルテ№
ペット名	△△△	検体採取日	2016/05/10
種	チワワ	性別	♂
品種	チワワ	年齢	10才

検査項目	材料	検査結果
犬リンパ球クローン性解析	リンパ球	IgH 陰性
		TCR 陰性
	全血	IgH 陰性
		TCR 陰性

判定・コメント

リンパ球クローン性解析の結果、免疫グロブリン遺伝子再構成が認められませんでした。T細胞のクローン性も認められませんでした。本検査では、リンパ球クローン性解析の結果を元に診断を確定することは出来ません。リンパ球クローン性解析の結果を元に診断を確定することは出来ません。遺伝子再構成の有無はPCRの結果から推定しております。PCRの結果から推定した結果は、あくまで参考です。PCRの結果から推定した結果は、あくまで参考です。

検査結果欄に「下記コメント参照」と記載され、コメント欄に「・・・陽性例に典型的なものではなく・・・」とある場合、その陽性例に典型的でないシグナルとしては以下のようなものがあります。

- ・ 疑わしい1本または2本のバンドが得られているが内部コントロールと比較して微弱である
- ・ 疑わしいバンドのほかに複数本の弱いバンドが同時に得られている。
- ・ 疑わしいバンドとスミアが混在している

このようなシグナルについては偽陽性の可能性が排除できません。もし可能であれば他の部位を用いた再検査または時期を置いての再検査をお勧めします。

A. 【検査ID】
検査結果についてお問い合わせがあるときは、検査ID番号をお知らせください。

B. 【患者様情報】
検査依頼書に記載いただいた部位名をそのまま記載します。検査依頼書に記載がなかった欄は空欄となります。

C. 【検査結果】
左側には解析対象の遺伝子名、右側には結果を記載します。検査結果の表記内容は検査項目によって異なります。

- ・ 遺伝子性疾患遺伝子検査…「クリア」「キャリア」「アフェクテッド」のいずれか。項目によっては遺伝子型（「G/G」「G/A」など）
- ・ リンパ球クローン性解析…「IgH」「TCR」それぞれについて「陰性」または「陽性」（下記G、参照）
- ・ c-KIT 遺伝子変異検査 …「エクソン 8」「エクソン 9」「エクソン 11」それぞれについて「陰性」または「陽性」
- ・ 上記以外の検査 …「陰性」または「陽性」

お伝えすべき事項がある場合や、何らかの理由で上記に当てはまらない結果となった場合は「下記コメント参照」と記載されますので、コメント欄をご確認ください。

D. 【材料】
検査依頼書に記載いただいた部位名をそのまま記載します。記載がない場合は「検体①、検体②・・・」と記載されます。

E. 【判定・コメント】
判定結果を文章で記載します。また、コメントがある場合は付記します。

F. 【DNA 品質】
参考情報として、検査材料から抽出された検査に有効な品質のDNA量をPCR結果から推定し3段階で評価します（リンパ球クローン性解析のみ）。

(++) …検査に必要な量のDNAは抽出されています

(+) …検査に必要なDNA量は確保されましたが、量が少ない、またはDNAにある程度のダメージがある可能性があります。検査結果への影響は不明ですが、一般にDNA量が多い方が信頼性の高い検査結果が得られやすくなります。

(-) …検査に必要なDNA量が確保されませんでした。量が極端に少ない、またはDNAにダメージがあると考えられます。可能であれば検査材料の再提出をお勧めします。

G. 【リンパ球クローン性解析の検査結果について】
検査結果欄の「IgH」は「免疫グロブリン遺伝子」の、「TCR」は「T細胞シレプター遺伝子」の略です。それぞれB細胞およびT細胞の単一な遺伝子再構成（クローン性）の検出、不検出を記載します。

検査結果欄に「下記コメント参照」と記載され、コメント欄に「・・・陽性例に典型的なものではなく・・・」とある場合、その陽性例に典型的でないシグナルとしては以下のようなものがあります。

- ・ 疑わしい1本または2本のバンドが得られているが内部コントロールと比較して微弱である
- ・ 疑わしいバンドのほかに複数本の弱いバンドが同時に得られている。
- ・ 疑わしいバンドとスミアが混在している

このようなシグナルについては偽陽性の可能性が排除できません。もし可能であれば他の部位を用いた再検査または時期を置いての再検査をお勧めします。

検査結果についてのお問い合わせは
TEL: 0948-26-1660
有限会社カホテクノ

検査結果報告書

(飼主様分)

受付日	2017/10/30	検査ID	13853
報告日	2017/11/01		
施設名	原田動物病院	施設ID	52159
飼い主様	原田 俊彦	カルテNo	
ペット名	サクラ	検体採取日	2017/10/28
種	猫	雌雄	♂ ・ ♀
品種	ラグドール	年齢	8ヶ月

検査項目	材料	検査結果	
HCM(MYBPC3遺伝子型)	血液	MYBPC3	C/C

判定・コメント

変異「MYBPC3 p.R820W」についてPCR-RFLP法により解析した結果、遺伝子型は「C/C(正常型のホモ接合体=クリア)」と判定されました。両親から受け継いだ遺伝子のどちらにも変異「MYBPC3 p.R820W」は認められませんでした。
 *当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症可能性を完全否定することはできません。



検査責任者



TEL : 0948-26-1660 FAX : 0948-26-1656 E-mail : kahotechno-ai@kahotechno.co.jp